

令和2年度第2回志木市社会教育委員会議録

令和2年8月4日(火)

午後1時30分～3時

いろは遊学館 第1研修室

出席者 委員：竹前榮二、宮原正幸、有馬隆江、一ノ倉達也、市之瀬初男、
稲垣真紀、野島悦子、鈴木民雄、星野祐子、島村直人、
松田良蔵、岡野正裕、前田喜春、中村和子
(順不同、敬称略)

市：柚木博教育長

生涯学習課(山本課長、浅見主幹、武井主査)

1 開 会 浅見主幹

2 委嘱状交付式：出席委員14名
交付：柚木博教育長

3 あいさつ 柚木博教育長

4 自己紹介 (出席委員及び市職員)

5 議長及び副議長選任

議長 竹前榮二委員

副議長 有馬隆江委員

6 協議事項 進行 竹前議長

事務局より説明

(1) 志木市における社会教育及び生涯学習について

①社会教育委員について 武井主査

②志木市の生涯学習推進について 浅見主幹

令和2年度生涯学習課事業説明

(議長) 志木市における社会教育及び生涯学習について、質疑がある人はいるか。

(委員) 志木のおまつりも中止なのか。

(事務局) 中止である。

(委員) 生涯学習課の事業をリモートでは実施できないか

(事務局) 現在、生涯学習課の事業をリモートで実施することはむずかしい。

(委員) 田子山富士塚は登ることはできるのか。

(委員) 田子山富士塚は、3密をさけ、予防対策をとりながら大安・友引に入山できる。

(議長) 皆さんの活動も中止となった事業が多いと思うが、どのような状況か。

(委員) 郷土芸能は、市制50周年記念事業の中で郷土芸能を披露する予定だったが、中止となったため、郷土芸能に関わる団体を中心とした冊子を作成することになった。

(委員) 親子劇場は、全国でリモート会議を実施している。20名から100名くらいの人数の会議もある。

(委員) PTAは、毎年市民会館のホールで全体研修会として、講演会を実施しているが、今年度は、リモートで開催を検討している。

(委員) 学校は、緊急事態宣言の時に休校としたため、授業数が不足しており夏休みも通常よりも少なく、中止となった行事も多い。

(委員) 大学は、学生の授業や公開講座、オープンキャンパスなどほとんどが、リモートで行われている。先日は、公開講座で料理研究家土井善晴氏を講師としてリモート講座を行った。大変好評であった。秋には、金田一秀穂先生のリモート講演会も予定している。また、いろは遊学館と共催で子ども向け事業についても検討中である。

(2) 志木市生涯学習推進指針について
前回案を修正し、再度全体を説明

(議長) 今の説明に対し、ご意見、質問はあるか。

(委員) 異議なし。

(議長) では、生涯学習推進指針については、この案で進めてほしい。

(3) その他

(議長) 事務局から研修について説明してほしい。

(事務局) 県外研修については、昨年度まで毎年実施していたが、今年度から2年に1回となった。今年度は、実施の予定はない。研修先によって、予算の計上が変わってくるため、来年度予算編成前である今回の会議で来年度の研修先を決めて頂きたい。候補としては、志木市の社会教育施設である、八ヶ岳自然の家と関東甲信越静社会教育研究大会東京大会である。

(議長) 研修について意見を伺いたい。

(委員) 毎年、個人的には利用している。とても良い施設なので、もっと多くの市民に周知できたらと思う。

(委員) 自然の家は、冬季は休所している。また、交通の便が悪く、車でないと行きづらい。

(委員) 研修のスタンスがわからないので、明確にする必要がある。

(委員) 知らない施設だった。大学のサークル合宿等で利用できるのではないか。

(議長) では、自然の家でよいか。

(委員) 異議なし